

1 前回までの部会における【行動】分野へのご意見について

【ご意見要旨（第1回及び第2回部会）】

- ・GXと言っても経済だけでなくライフスタイルの観点もあり、市民にも行動を促していく施策を繋げて欲しい
- ・連携の基礎は対話や教育で、タウンミーティングや気候市民会議、ユース育成など、市民対話の視点は重要
- ・2050年に向けて、社会を変革して温室効果ガスを削減する仕組みを、話し合いやスコープ3の考え方を意識した札幌としていくような内容を盛り込んでほしい。

➡第1回及び第2回部会のご意見を踏まえ、2050年目標を達成するためには、ハード面の対策に限らず、情報発信や人材育成を通じて行動変容を促すことが必要であり、話し合いや協議という観点での施策が重要と認識

【検討結果】

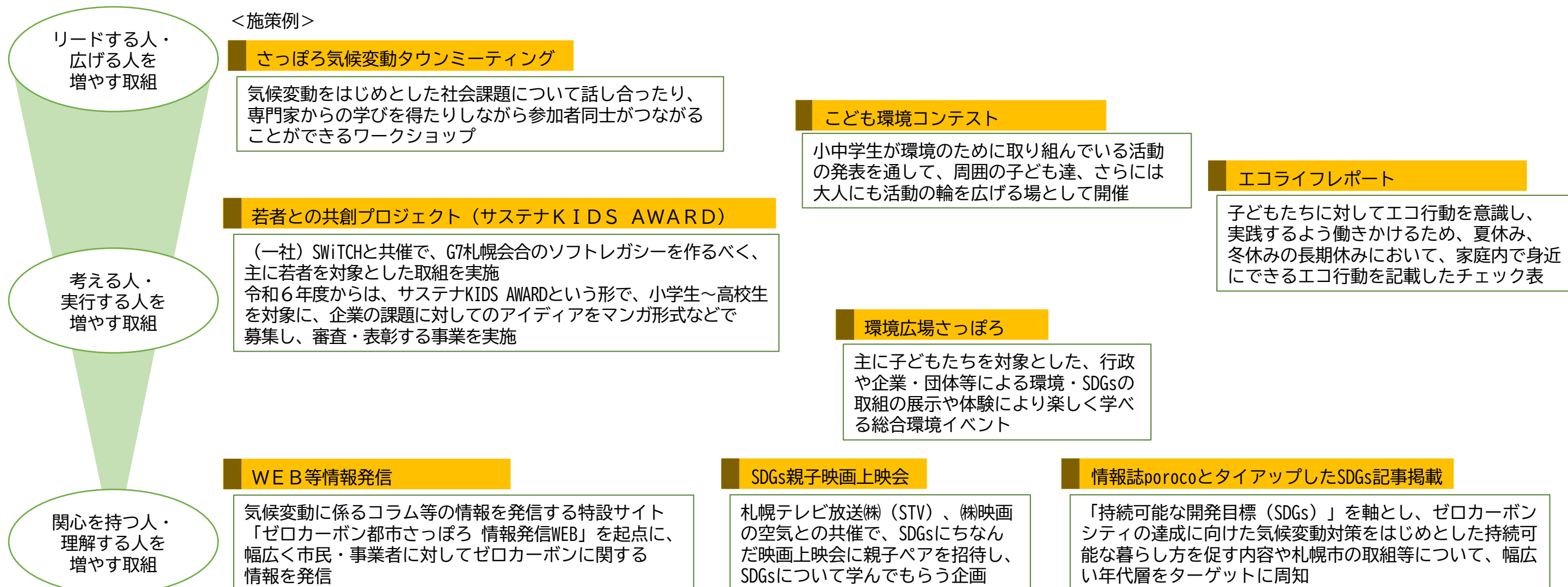
札幌市気候変動対策行動計画 改定計画（案）の概要 P2/15 に追記
改定計画の目標値と目標達成に向けた施策・取組について（今後）

(6) 2050年目標の達成に向けた社会変革のための取組

○温室効果ガスを削減する仕組みや、ライフサイクル全体を考慮した製品・サービスの選択等について、話し合いや教育等に関する取組を提示することとしたい。

2 （現状把握）札幌市の現在の情報発信や人材育成等の実施状況について

理解度や実践度に応じた段階 ※札幌市環境教育・環境学習基本方針を参照



3 今後の具体的な取組等について

上記のような

- ・市民や事業者に対して温室効果ガス削減に向けた意識を醸成させる取組
- ・市民や事業者が消費行動や生活行動において温室効果ガス排出を意識する行動変容を促す取組などを継続して実施していく

さらに、「将来の札幌を担うユース世代や子ども向けの啓発や環境教育」をはじめ、生産年齢人口の中でも中核を担う世代も含めた幅広い世代を対象として、**対話や教育等に着目し**、「リードする人・広げる人を増やす取組」に注力したい。

札幌市気候変動対策行動計画 改定計画（案）の概要 P4/15 に追記検討中
[行動]市

✓対話や教育等に着目し、環境に配慮した行動をリードする人・広げる人を増やす取組の推進